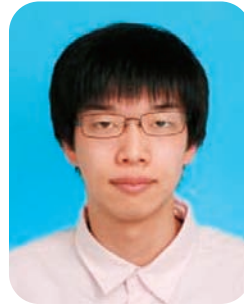


初めての国際会議

先端情報工学専攻 田代 晃司



学会参加にあたり

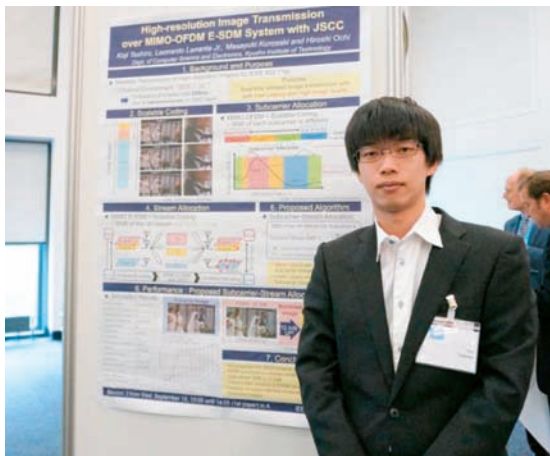
私は、2014年9月7～10日にドイツ連邦共和国の首都ベルリンで開催されたIEEE 2014 ICCE-Berlin (International Conference on Consumer Electronics-Berlin)に参加しました。

ドイツに行くのは今回が初めてでしたが、開催地であるベルリンは高層ビルなどの大きな建物は少なく、非常に緑が豊かで落ち着いた印象を受けました。

また本会議は、世界最大級の家電見本市IFAに併設する会議であるため、様々な企業が出展するブース

を見学することができました。

今回私は、自身の研究についてポスターで発表を行いました。私は、高解像度画像の無線伝送に関する研究を行っています。LAPSEに代表される映像の高解像度化に伴って、無線伝送する際のデータ量も増加します。そこで私は、伝送する際に発生するエラーを許容しつつ画質の劣化を抑える手法を提案しました。



ポスター発表を経験して

ポスター発表では、簡単に研究について説明したのちに、質問に答えたり、議論を交わしたりしました。

最初は、英語でコミュニケーションをとることに緊張や不安がありました。しかし数人と議論するうちに、それらの感情は消えていきました。緊張や不安よりも、研究成果を正確に伝えたいという思いが強く、つたない英語でも、積極的に堂々と話すことで、自分の考えが相手に伝わることを実感しました。それ以来、学内や研究室内の留学生とも積極的に英語でコミュニケーションをとれるようになりました。

また提案手法に関する様々なコメントをいただきました。国外の大学の教員や学生と自分の研究について議論することは非常に貴重な経験だと思いました。成果を褒めてもらったときは、素直に嬉しく誇らしい気持ちになりました。一方で、指摘された課題点やいただいたアドバイスを参考にして、さらに自分の研究を加速させて行こうと強く感じました。

ベルリン市内観光

現在では東西統一のシンボルとされるブランデンブルグ門や、ベルリンの壁、検問所であるチェックポイント・チャーリーなどを見学しました。授業で一度は勉強しているのですが、現地に行くと様々な疑問が湧いてきて、改めてドイツ分裂を勉強する良い機会になりました。



最後に、本会議に参加するにあたって、奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆およびポスター作成に関してご指導いただいた黒崎正行准教授に厚く御礼申し上げます。